

裏剣紅葉山行（下の廊下→阿曽原温泉→仙人池→真砂沢→黒部ダム）報告

【山城】 北アルプス

【参加者】 CL 田中、SL 齋藤(健)、会計澤田(淳)、記録加藤

【日程】 10/7 黒部ダム 7:20→（下の廊下）→阿曽原温泉 16:20

10/8 阿曽原温泉 7:00→（雲切新道）→仙人湯→仙人池ヒュッテ 15:15

10/9 仙人池ヒュッテ 6:30→仙人峠から池の平往復→真砂沢ロッジ 13:30

10/10 真砂沢ロッジ 6:10→ハシゴ段乗越→内蔵助平→黒部ダム 14:00→扇沢

【記録】

10/7 小雨

扇沢発 6:30 の始発のトロリーバスに乗車、開通したばかりの下の廊下(日電歩道)に入る。紅葉は早いが黒部川左岸に沿って緩やかに下る。滝のシャワーを浴びる所数ヶ所あり。黒部別山谷出合には残雪があり、はしご、ロープが設置されていた。整備が追いつかず、足場の丸太や針金が設置されていない所もある。1ヶ所足場が崩れてスリング+カラビナで自己確保して通過する所があった。十字峡の吊橋を越え、東谷吊橋で右岸に渡り仙人谷ダムへ。ダムの管理施設の前に美味しい水が沸き、ワサビ葉も生えている。施設内のトンネルは温泉の熱気で暑い。最後の登りがきつかったが、阿曽原温泉小屋では、10人以上は入れる広い露天風呂で至福の時を過ごした。



【上：黒部ダムの下へ 木橋を渡り左岸へ 下：下の廊下の始まり～残雪をまじかに】





【上：十字峡と東谷吊橋・・下：仙人ダム湖水・ダム管理建屋前にて】



10/8 快晴

仙人ダムまで一度戻り、雲切新道をひたすら登る。ピークを過ぎると仙人湯源泉があり蒸気を吹き上げている。仙人湯温泉小屋から仙人谷沿いに登ると雪渓と紅葉の組み合わせが見事である。振り返ると後立山連峰の山並が見え、谷を詰めると仙人池ヒュッテである。小屋前の仙人池に反射する八つ峰の岩峰が印象的で多数の写真家が三脚を立てていた。この小屋にも風呂があり短時間だが湯船に浸かることができた。ただし、ビールが売り切れだったのは残念だった。



【仙人池にて】

10/9 快晴

仙人峠から池の平小屋まで往復する。湿原の先に「平の池」がありナナカマドやチングルマの真赤な紅葉と緑の笹、小窓雪渓が灰色の岸壁に映え、この上ない景観である。池の平小屋のテント場も快適そうである。仙人峠から眼下の剣沢を目指して下ると三ノ窓雪渓も見え写真撮影に余念がない。剣沢に沿いを緩やかに登ると真砂沢ロッジである。ここにも掛け湯の風呂があり小屋前のテラスで剣岳本峰を眺めながら寛いだ。



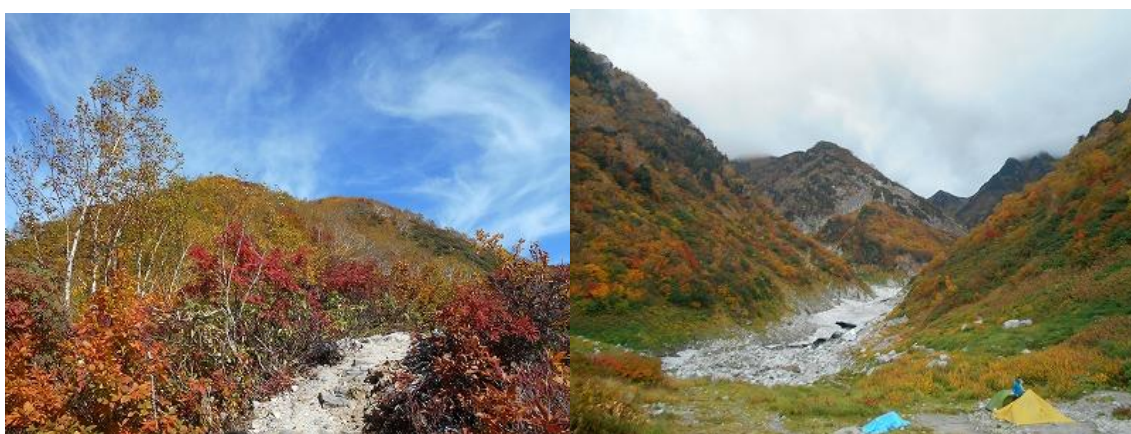
【上：池ノ平へ 剣岳八ツ峰が眼前に 下：池の平にて】



【池ノ平にて裏剣岳 八ヶ峰をバックに】



【池の平の紅葉・・仙人峠からの下り紅葉：真砂沢ヒュッテからの剣沢紅葉】



10/10 曇りのち晴れ

当日午前中に撤去予定のハシゴ段分岐の橋を越え尾根へ。ハシゴ段乗越付近の丸太の梯子はよく整備されていた。ハッ峰末端の岸壁、劔岳、前日宿泊した仙人池ヒュッテを望んだ後は内蔵助平へ下るが、沢の源頭のように歩き難い。いよいよ内蔵助谷に入るとロープ、鎖場が連続するが、歩行には問題ない。途中、ブナハリダケが大量に生えているのを発見し、採取する。下の廊下上部に合流し、黒部ダムに辿り着き、今回の山行を終了した。



【ハシゴ段乗越付近と内蔵助平への紅葉】

【感想】

当初3日間の行程であったが、最終日を2日に分け、4日間の行程となり、余裕のある山行ができた。特に池の平付近の真紅の紅葉は圧巻であった。この企画を出してくださったCLのTさんには感謝しています。



【付録 : 仙人峠へ・池ノ平・小窓雪溪・リンドウ・マユミ】





【下の廊下の崩壊雪渓】



【KSさん撮影の紅葉】